

Contents もくじ

Vol.3



偕行会透析クリニック

医療法人偕行会 名古屋共立病院 TEL:052-362-5151
名古屋市中川区法華1-172 FAX:052-353-9105

名古屋共立クリニック TEL:052-353-9119
名古屋市中川区法華1-190 FAX:052-353-9109

偕行会セントラルクリニック TEL:052-363-7373
名古屋市中川区中島新町3-2518 FAX:052-363-7374

海部共立クリニック TEL:0567-65-1171
弥富市佐古木2-280-1 FAX:0567-65-3853

安城共立クリニック TEL:0566-73-0610
安城市箕輪町正福田110 FAX:0566-73-0612

碧海共立クリニック TEL:0566-73-2710
安城市高棚町中島115-1 FAX:0566-73-2711

豊田共立クリニック TEL:0565-74-0774
豊田市豊栄町10-59 FAX:0565-74-0799

半田共立クリニック TEL:0569-32-1700
半田市住吉町2-166 FAX:0569-32-1720

名港共立クリニック TEL:052-698-3077
名古屋港区木場町8-202 ★2006.11 Open予定

桶川共立クリニック
埼玉県桶川市大字上日出谷644-1
TEL:048-789-5151
FAX:048-787-5501

静岡共立クリニック
静岡県静岡市駿河区曲金4-1-25
TEL:054-284-7222 FAX:054-284-7227

駒込共立クリニック
東京都文京区本駒込6-25-4
中居ビル3F
TEL:03-3941-9988
FAX:03-3941-4282

城北共立クリニック
静岡県静岡市葵区城北1111-1
TEL:054-249-2555 FAX:054-209-8500

かいこうクリニック
大阪府大阪市東住吉区
西今川3-1-21 カナエ今川ビル3F
TEL:06-6769-7811
FAX:06-6769-7822

掛川共立クリニック
静岡県掛川市上張695-1
TEL:0537-61-5511 FAX:0537-23-7333

駒ヶ根共立クリニック
長野県駒ヶ根市赤穂4269
TEL:0265-82-5022 FAX:0265-83-2329

中津川共立クリニック
岐阜県中津川市駒場1666-1122
TEL:0573-65-8777 FAX:0573-65-8666

1 [透析考・あれこれ]
スタッフを誇る
医療法人偕行会常務理事・透析事業本部長
勢納 八郎

特集 名港共立クリニック 名古屋・木場に今秋オープン

2 これでわかる新病院！
名港共立
クリニック バーチャルツアー
案内人 小林 尚美 課長

4 透析帰りに名港の秋を味わう
名港共立
クリニック 名所散策マップ
便利なシャトルバスの2ルートもご紹介

6 [最新トピックス]
便利なコールセンターができました
感染症対策・分析広報部 桜井 寛 課長

8 [かいこう人物伝 in 駒ヶ根]
駒ヶ根共立クリニック 酒井 悠次院長
合併症対策に力を入れるアイデアマン！

10 [食べるヒント！] 秋編
マリコとえりかのどっちの料理対決！
和食・洋食・中華でおいしく豪華に
名古屋共立病院 & 偕行会セントラルクリニック 管理栄養士

14 [ZOOM・ざーむ@スタッフ in 駒込]
駒込共立クリニック 村上 奈美子さん
主任看護師としての心がまえは…

15 [ZOOM・ざーむ@スタッフ in 弥富]
海部共立クリニック 森 千夏さん
透析患者の足を守るために活躍中

16 [クローズアップこの人 in 愛知]
愛知県腎臓病患者連絡協議会 永坂 利男会長
患者の声を代弁できる透析患者のまとめ役

18 [寄稿] 掌編小説 大人の散歩道
おとな てえと
木下文吉

秋はウーイ…
絵もウーイ…



似顔絵は名古屋にある似顔
絵倶楽部の中村 剛さんが担
当しました。本人にそっくりな、
あたたかく親しみやすい雰
囲気の似顔絵を描いてくだ
さいました。ホームページは
www.nigaoe-club.com



スタッフを誇る

医療法人偕行会常務理事
透析事業本部長
勢納 八郎

毎月一回安城共立クリニックの勉強会に出席
しています。当施設は、平成9年12月開院の三河地
区最初のサテライトで、当法人透析施設の中では
既に古いほうの部類に入ります。スタッフルーム
や院長室のみならず、ロビーも小さく、現在の偕
行会の基準に照らして考えればいかにも手狭です。
しかし、このクリニックに暗さは微塵もありません。
それどころか、この間にしっかりと地域に根つき、
愛知県で最も機能している市町村腎友会を育み、
三河地区のサテライトを静岡県法人に匹敵する規
模にまで築き上げた誇りと活気を感じます。

もちろん、安城共立クリニック単体でなし得たこ
とではありません。名古屋共立病院、安城更生病
院をはじめとする、センター病院やバックアップ施
設の応援抜きにはなし得なかったことばかりです。
中でも安城更生病院の先生方には大変お世話に
なり、技術的・学術的なご指導も仰ぎながら、二人
三脚で発展させて頂いてきました。更生病院や近
隣の透析施設と共同の勉強会を開催させて頂い
たことも少ないことではありません。

この施設の勉強会の中心は看護師や技士など
現場のスタッフです。医師は指示するだけで、現
場のスタッフが苦勞しながら資料を集め、自ら学び、
率先して技術の習得を果たしてきました。そんな
中から「シャントの管理」という冊子は生まれました。
(とうせき・らいふ創刊第2号17ページ)

そして今また新たな発見や感動がこの勉強会
から生れてきています。この勉強会のモットーは

「先入観に捕らわ
れず、疑問は疑問
として取り組んで
いくこと。その場で
解決不能な課題も、
あきらめずに問題
視しつづけること。
やむをえず亡くな
られた患者様からも、何とかして亡くならずに済ま
せることはできなかったのかを考えること」です。

8月の勉強会として彼女たちが選んだのは、「耳
鼻科領域の疾患に対して、重粒子線治療を選択さ
れ、入院された患者様」の検討会でした。疾患の
特徴や重粒子線の効果について、看護師が予め
十分に調べ、結果的に大変有意義な討論を行うこ
とができました。

偕行会の合併症対策の強さは、ただ単に合併
症対策のマニュアルやバスを実践しているからとか、
コールセンターを備えたからといった外面的な理
由だけではないと思っています。透析患者様の健
康と幸せを心から願い、地道に努力しつづける、
彼女らのようなスタッフが、安城だけでなく、全て
の現場に、本当に多く存在していることにもよるの
だと思っています。

こうしたスタッフと一緒に仕事ができますことを、
心から誇りに思いますと同時に、皆様に広くお報
せいたしまして、今後の偕行会にますますご期待
いただきますようお願い申し上げます。

